かちまいスポーツ
写真がほしい▼0120・25・9410　ファクス▼0155・25・2700
著作権などにより販売できない写真もあります　Eメール▼sports@kachimai.co.jp

ホープス男子 住田初V

大空学園

競技まだ1年 「驚き」

【ホープス男子・決勝】反応良く球を打つ大空学園の住田瑠以

競技を始めて1年足らずの住田瑠以（大空学園6年）が、ホープス男子を制した。今までも大会には出場していたものの、自身初めての十勝制覇に、「驚きの優勝」と喜んだ。

5年次に同校の卓球部に加入した。それまではサッカーに取り組んでいたが、体験入部でサッカーよりも「小刻みに体力を使う」卓球に適性を感じた。それ以来、卓球一本に。現在は週5回の部活に加え、コーチとの練習にも取り組んでいる。

決勝では、左利きの相手に的確に対応した。相手がバックハンドで届く際を狙った配球で流れを優位に。ゲームカウント2―1から「簡単には取らせない」と、球の回転量を増して攻撃。6―7から5連続得点で、3ゲームを奪った。

全道大会までにさらなる成長を誓う。「スマッシュの威力を上げる。重い球を出したい」と意気込んだ。

全十勝卓球ホープス・カブ・バンビ大会

卓球の全十勝ホープス・カブ・バンビ大会兼道選手権大会十勝地区予選会（十勝卓球協会、帯広卓球連盟主催）が8日、よつ葉アリーナ十勝で行われた。ホープス（小学6年以下）の男子では住田瑠以（大空学園）が初優勝し、女子では谷沿來羽（こはね、スマイルクラブ）が同部門を2連覇した。カブ（小学4年以下）の男子では吉根正輝（十勝クラブ）、女子では藤縄まお（帯広T・Tスタジオ）が優勝。バンビ（小学2年以下）の男子は谷沿快音（スマイルクラブ）、女子は小野結莉菜（十勝クラブ）が制した。今大会に出場した全選手が、全道大会（5月20日・根室管内中標津町総合体育館）の出場権を得た。（新井拓海）

ホープス女子 谷沿連覇

スマイルクラブ

【ホープス女子・決勝】力強く攻撃するスマイルクラブの谷沿來羽

同クラブ対決制す 好機逃さず

谷沿來羽（札内南小6年）が同クラブの宮川美乃里との対決を制し、前回大会に続いてホープス女子で優勝した。

「相手は自分の弱点が分かるので心配だった」と警戒心を持ちつつ、実力を発揮した。相手の甘い球を待ち、好機では落ち着いてドライブで攻撃。フォア前への下回転を掛けたサービスに確実な手応えもあり、3―1で勝利した。

小学2年時に、この大会の全道大会のバンビの部を制した経験もある谷沿が見据えるのは、全国大会での活躍。まずは全道4強入りへ、確実に勝ち進む。

ホープスの部で好成績を収めた選手ら。中央右が男子優勝の住田瑠以。中央左が女子優勝の谷沿來羽

カブの部で好成績を収めた選手ら。中央右が男子優勝の吉根正輝。中央左が女子優勝の藤縄まお

バンビの部で好成績を収めた選手ら。中央右が男子優勝の谷沿快音。中央左が女子優勝の小野結莉菜

全国で活躍したい

カブ男子優勝・十勝クラブの吉根正輝（啓北小4年）の話　最後はミスもあったが、クラブのみんなの応援で勝てた。今後は全道大会で勝って、全国大会で活躍したい。

積極的にいき初V

カブ女子優勝・帯広T・Tスタジオの藤縄まお（啓西小4年）の話

大会に出たのは初めてだったが、優勝できてよかった。自分から積極的にいけたから勝てた。今後は全道大会で優勝したい。

【男子】〈ホープス〉◇決勝トーナメント▽1回戦
住田瑠以（大空学園）3―0高橋来伝（大空学園）
富田隼士（帯広T・Tスタジオ）3―0大島隆寛（十勝クラブ）
▽2回戦
住田　3―0木村碧杜（帯広T・Tスタジオ）
佐藤健瑠（十勝クラブ）3―2青柳光峨（札内クラブ）
社内柑太（帯広T・Tスタジオ）3―0吉根琉生（更別クラブジュニア）
川口侑真（おとふけジュニアクラブ）3―0富田
▽準決勝
住田3―2佐藤
社内3―1川口
▽決勝
住田3―1社内
〈カブ〉◇決勝トーナメント▽1回戦
吉根正輝（十勝クラブ）3―0掛札想（帯広T・Tクラブ）
木下閃里（帯広T・Tスタジオ）3―2柴田晴翔（おとふけジュニアクラブ）
▽決勝
吉根3―0木下
〈バンビ〉◇決勝トーナメント▽1回戦
谷沿快音（スマイルクラブ）3―0長嶋空音（スマイルクラブ）
西山天喜（十勝クラブ）3―0高野宏太（札内クラブ）
▽決勝
谷沿3―0西山
【女子】〈ホープス〉◇決勝トーナメント▽1回戦
大井悠菜（上士幌少年団）3―2小野結愛（札内クラブ）
五十嵐美桜（スマイルクラブ）3―1社浦悠亜（帯広T・Tスタジオ）
▽2回戦
谷沿來羽（スマイルクラブ）3―0大井
松野七星（札内クラブ）3―0高橋晄
石井菜々華（上士幌少年団）3―0菅原芽生（上士幌少年団）
宮川美乃里（スマイルクラブ）3―0五十嵐
▽準決勝
谷沿3―0松野
宮川3―0石井
▽決勝
谷沿3―1宮川
〈カブ〉◇決勝トーナメント▽1回戦
菅原奈々（上士幌少年団）3―0吉根優月（更別クラブジュニア）
藤縄まお（帯広T・Tスタジオ）3―2鈴木陽都葉（帯広T・Tスタジオ）
▽決勝
藤縄3―2菅原
〈バンビ〉◇リーグ戦▼順位＝①小野結莉菜（十勝クラブ）1勝②鈴木詠都（おとふけジュニアクラブ）1敗

清水（帯三条）18歳以下男子 初優勝

全十勝室内ジュニア単選手権

テニス

テニスの第44回全十勝室内ジュニア単選手権大会（帯広テニス協会主催）は3月28～30日、明治北海道十勝オーバル中地で男女5種目を行った。64人が出場した18歳以下男子は清水大夢（帯三条高2年）が初優勝を飾り、同女子は角田桃希（帯南商高1年）が制した。男子の16歳以下は高橋奏人（ウイング、木野東小6年）、同14歳以下は鎌田巧（F・R、鈴蘭小6年）、女子16歳以下は清水優唯（音更高1年）がそれぞれ優勝した。※学年は3月現在。（小野寺俊之介）

男子18歳以下優勝の清水大夢

男子14歳以下優勝の鎌田巧

サーブのスピン技術を安定させ

清水

○…課題だったサーブ力の向上を果たした清水大夢がうれしい初優勝。スピードよりもスライス系サーブのスピン量を意識することでコントロールを安定させた。これまでは「1試合で平均1、2個はダブルフォールがあった」が今回は6試合でわずか1回と成長を見せ、安定してポイントを重ねた。

「ファーストサーブの確率を上げてもっと攻める意識を持ちたい。ネットプレーもレベルアップが必要」と3年生進級を前に意欲。「まずは高体連の全十勝大会で優勝できるよう頑張りたい」と力強く語った。

焦らず臨み初V

14歳以下男子優勝・鎌田巧の話　これまでたくさん負けてきたので初優勝がうれしい。焦らずゆっくりを心掛けて冷静に試合に臨めた。中学でも部活に入らずクラブでテニスに取り組む。全道で上位に入れるように頑張りたい。

【男子】◇14歳以下▽リーグ戦
田巻裕翔（F・R）6―4鎌田巧（F・R）
田6―3山名悠太（F・R）
▼順位＝①鎌田巧1勝②山名悠太1勝1敗③田巻裕翔1勝1敗
※1～3位は取得ゲーム率差などによる
◇16歳以下▽準決勝
太野亮祐（ウイング）6―4高田輝（ウイング）
高橋奏人（ウイング）6―1岩田瑞生（F・R）
▽決勝
高橋6―2太野
◇18歳以下▽準々決勝
清水大夢（帯三条高）6―0菊池康平（帯三条高）
中川旺亮（UFO）6―2平田匠（帯北高）
藤原啓慈（帯柏葉高）6―1阿曽純太郎（帯三条高）
清水結心（帯北高）6―1吉田善（帯北高）
▽準決勝
水大6―7中
原不戦勝清
▽決勝
藤水大6―2藤
清水6―0清野唯月（音更高）
【女子】◇16歳以下▽リーグ戦
清水優唯（音更高）6―1末廣優里（音更高）
清野6―2末廣
▼順位＝①清水優唯2勝②清野唯月1勝1敗③末廣優里2敗
◇18歳以下▽準々決勝
中川瑚子（帯緑陽高）6―0吉村茉穂（帯緑陽高）
菊池深月（帯緑陽高）6―3高橋ひより（UFO）
角田桃希（帯南商高）7―5細谷柚葉（UFO）
安藤樹里（帯南商高）6―1柴田妃夏（帯大谷高）
▽準決勝
角田6―2安藤
中川6―2菊池
▽決勝
角田6―0中川

社会人北北海道大会を新設

十勝バドミントン協会 林会長を再任

十勝バドミントン協会（林浩史会長）の今年度総会が8日、帯広市内のとかちプラザで行われ、役員改選で林会長を再任した。6月に社会人団体の北北海道大会を新設するなど今季事業計画を決めた。社会人部とレディース部を統合する規約改正も承認された。

34人が出席。林会長は「コロナ禍で事業が制限されてきたが、本格的に以前の活動に戻る。皆さんの力で、学生たちも良い成績を残してきた。今年はインターハイの道内開催もあり、いっそう盛り上げていきたい」とあいさつ。昨年度事業と決算を報告した。

あいさつする林会長

今年度は6月25日に第1回タイセイ・SEEDカップ北北海道社会人団体戦を芽室総体で新規開催。全道大会は来年1月18～20日に第55回道高校新人大会兼全国高校選抜北北海道予選を、よつ葉アリーナ十勝で開催する。ほぼコロナ禍以前の規模となる事業計画と予算を承認した。

レディース部会は女性のみの大会で出場者の確保が困難なため、社会人部に統合することにした。（古川雄介）

新役員は次の通り。（敬称略）

▽会長＝林浩史（再）▽副会長＝山越学、青山和彦、花井豊、松岡義文（以上再）▽副理事長＝水崎忍（再）▽事務局長＝板矢豊、高道昭夫（以上再）▽相澤俊彰（新）▽事務局次長＝櫻井学（再）▽競技審判委員長＝小松正直（再）▽記録委員長＝矢野凛平（新）▽普及委員長＝松岡義文（再）▽強化委員長＝入江優喜（新）▽財務委員長＝関根裕彦（再）▽会計監査＝出村哲教（再）▽社会人部長＝仁科桂次（再）▽高校部長＝池田勝也（再）▽中学部長＝井田健太（再）▽少年団部長＝西山幸子（再）

〈大会日程〉
▽第55回勝毎杯春季全十勝社会人ダブルス大会（4月16日・札内）▽第13回小林純幸杯争奪全十勝高校春季大会（同22、23日・帯森体、札内）▽第24回全道小学生ABC大会十勝地区予選会（同22日・音更）▽全十勝中体連春季大会（同29、30日・よつ葉アリーナ）▽第11回ラケットスポーツシード杯春季全十勝社会人シングルス兼ミックスダブルス大会（5月21日・札内）▽高体連十勝支部大会（同25～27日・帯森体）▽市中体連夏季大会（6月24、25日・よつ葉アリーナ）▽第1回タイセイ・SEEDカップ北北海道社会人団体戦（同25日・芽室）▽ヨネックス杯争奪全十勝高校夏季大会（7月1、2日・学校、札内）▽全十勝中体連夏季大会（同1、2日・よつ葉アリーナ）▽第45回全十勝小学生大会（同17日・音更）▽第48回スポーツプラス杯夏季全十勝社会人ダブルス大会（同23日・芽室）▽第27回全道シニアスポーツ大会（9月3日・よつ葉アリーナ）▽第12回ラケットスポーツシード杯秋季全十勝社会人シングルス兼ミックスダブルス大会（同10日・札内）▽市中体連秋季大会（同16日・よつ葉アリーナ）▽第54回勝毎杯争奪秋季大会・高校の部（同23、24日・芽室、帯森体、札内）▽全十勝中体連秋季大会（同23、24日・よつ葉アリーナ）▽市スポーツフェスティバル（10月9日・未定）▽社会人ダブルス大会（同22日・未定）▽全十勝高校新人大会（11月11、12日、12月9日・芽室、帯大谷高）▽第15回フクハラ杯全十勝社会人団体戦（11月26日・芽室）▽道中学生新人大会十勝地区予選会（12月・よつ葉アリーナ）▽第10回全十勝小学生ダブルス大会（12月上旬・清水）▽第37回全十勝小学生オープン大会（2024年1月13、14日・よつ葉アリーナ）▽第55回道高校新人大会兼全国高校選抜北北海道予選（1月18～20日・よつ葉アリーナ）▽全十勝社会人団体戦（同21日・札内）▽第27回全十勝中学生学年別大会（2月10日・よつ葉アリーナ）▽第30回全十勝小学生鈴蘭大会（2月10、11日・音更）▽社会人大会（3月17日・芽室）